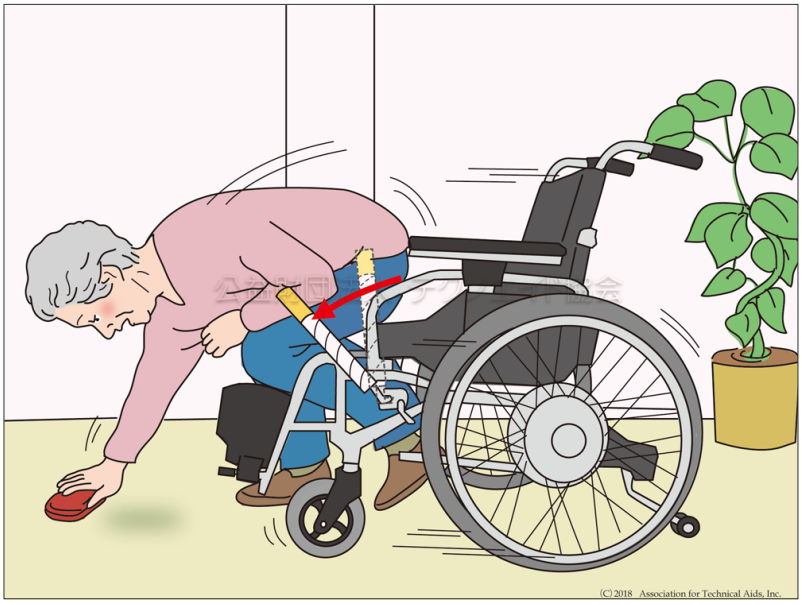
Case：334

延長した駐車ブレーキに腕がぶつかり、車いすが動いてしまう

場面の説明

床に落ちたものを拾おうと前に屈んだ際に、ラップの芯で延長した駐車ブレーキに腕がぶつかってしまった。
その結果、ロックが外れ車いすが動いてバランスを崩し転倒しそうになった。



利用シーン	移動
主な利用場所	寝室 リビング・居間 ダイニング・食堂 廊下
介護保険の種目	車いす
分類コード(CCTA95)	122106(後輪駆動式車いす)
介護テクノロジー	―
二次元バーコード	

解説

片麻痺者の麻痺側のブレーキ操作を行いやすくする場合、本来はメーカーオプションの延長ブレーキを使うべきです。しかし、簡易な対処としてラップ芯を使いブレーキを延長する方法が良く見られます。本事例では、前に屈んだ際にラップ芯に腕が当たり、駐車ブレーキが外れ、車いすが動き、前方へバランスを崩し転倒しそうになっています。特に冬場で厚手の上着をきると、腕が太くなるので、接触しやすくなります。安易な使用は禁物です。

参考要因

人：ラップ芯に腕が当たり、駐車ブレーキが外れたことに気が付かなかった
モノ：ラップの芯が腕に当たりやすくなっていた
モノ：軽い力で延長ブレーキが外れるようになっていた
管理：延長ブレーキを使用する際の注意喚起が十分されていなかった

Copyright 2000-2012 Association for Technical Aids, Inc. All rights reserved.